

「ビジョンハッカー」はSNS教育の学習材となるのでは？

ビジョンハッカーとは、「目の前の課題解決に取り組む」だけにとどまらず、その課題を生み出すシステムや背景にも注目して、これまでにないやり方で挑む人々、と定義されています。5月にNHKスペシャルで放映されました。番組に出たビジョンハッカーたちの一部を紹介します。(番組紹介HPより抜粋)

・「Learning for All」の李炯植さん(リ・ヒョンシギ)

ビジョンハッカー・李炯植さん 30歳。掲げるビジョンは『貧困の連鎖を生まない社会システムの実現』。李さんがその活動の場として選んだのが“教育”です。日本の子どもの7人に1人が、貧困状態にあります。経済的に苦しい家庭の多くは、塾や習い事にお金をかけられず、子どもが、希望する道に進むことが難しい状況です。

2021年2月、李さんは、地方で活動する学習支援のNPOをつないだネットワークを、新たに立ち上げようと動き始めました。全体の底上げを図るため、教材を提供。組織運営のノウハウを積極的に公開します。活動の基盤を強固にするために、資金調達や組織運営、広報を専門的力量を持つ人々を説得し(年収が1/3になった人もいる)てLFAにつなげました。

・ボランティアネットワークで新型コロナに立ち向かうライアン・シースリコウスキーさん

SNSを駆使して、巨大なボランティアのネットワークを作り、新型コロナに立ち向かうビジョンハッカー、スタンフォード大学の学生。社会貢献の意識が高い『Z世代』の21歳。

ライアンさんは去年3月、高校の同級生3人とともに、医療従事者を支援する団体を立ち上げました。わずか1年で600人のボランティアを集め、西海岸を中心に7カ所に支部を作りました。ライアンさんたちが支援するのは、医療従事者。感染の危険にさらされながら最前線で働いているにもかかわらず、待遇が低く抑えられているのが現状です。医療従事者の子どもたちは、『コロナを広める危険がある』といじめにあったり、通学を拒否されたりするケースが相次いでいました。

そこでライアンさんたちは医療従事者の家庭にボランティアを派遣。留守の間、子どもを見守ったり、学校に通えない子どもの勉強をオンラインで支援します。生活に困窮する家庭には、クラウドファンディングで募金集めまで行っています。負担だけを強いられ、救済されない人たちをすくい上げるという彼らのビジョンを、数百人の友達にSNSで伝え協力を呼びかけると、あっという間にボランティア希望者が集まったといいます。

・世界の医療格差をなくしたい酒匂真理さん

「今回のような感染症は、いくら先進国でワクチンが広まって大丈夫となっても、途上国にコロナウイルスが蔓延している限り、そこで変異が起これば、ワクチンを打っても全然効かないというような状態が起こりうると思うんですね」。人口1億6000万、人口密度世界一の国、バングラデシュ。医師が不足し、マスクや手洗いといった基本的な習慣も根付いていません。そんなバングラデシュで酒匂さんが始めたのが、日本で広く行われている健康診断です。集めたデータをAIで解析。分析結果をもとに、リモートでの遠隔診療を行います。医師が不足している地域でも、正確な診断に導くことが可能になります。全世界の半分、35億人が基礎的な医療サービスを受けられていない今、この仕組みを途上国に広げ、医療改革を展開したいと、酒匂さんは考えています。

<私が感じたこと>

「ビジョンハッカー」という聞き慣れない言葉に興味を持って視聴しましたが、SNS を駆使して自らのビジョンに共鳴する仲間を集め、資金を調達し、活動を展開する彼らの底力に圧倒されました。国や政府が十分な解決策をとらない問題に対して機敏に対応するビジョンハッカーたち。[SNS や ITC をこのように使いこなしていく姿を本校の生徒たちはどのように観て、何を感じるのか？](#)とても気になりました。

SNS で犯罪者たちが様々な「畏」をしかけ、特に若年層を犯罪に巻き込む現状。SNS で誹謗中傷を繰り返して、最悪の場合人を死に追いやる現状。私たちは SNS のこうした使われ方から生徒たちを守るために注意を払う必要があります。（「生徒指導部ニュース No 3」参照）

同時に、SNS を駆使して社会の不公平や格差を解消するために活動するビジョンハッカーたちの姿は SNS 教育の学習材となるのではないかともしました。

私がよく目にする「Change.org」という署名サイトがあります。赤木ファイル開示や東京五輪中止の署名は 30 万～ 45 万人分が集約されました。この他にも「ジェンダー教育の推進」や「生理の貧困」などに関するものなど実に多様な署名の訴えが提起されています。東京五輪に関してはこのサイト以外にも学者・文化人グループの署名や市民グループの署名も行われていますが、興味深いのは Change.org で署名を提起した「私たちの会」がこうした関連署名サイトを相互に広めあおうという訴えかけをしている点です。市民団体や NPO が国民の声を集約して力にしようという発想に、日本にも「草の根民主主義」が芽生えているのかという希望を抱きました。

これからますます増大する SNS や ICT の世界、私たちはその進む方向を生徒や「Z 世代」とともに考えていく学習を構築する必要性を感じています。

* ネットで「ビジョンハッカー」で検索すると、NHK スペシャルの短縮版を閲覧することが可能です。